

情報発信等戦略の期間

令和 3 年度～令和 7 年度まで

情報発信等戦略

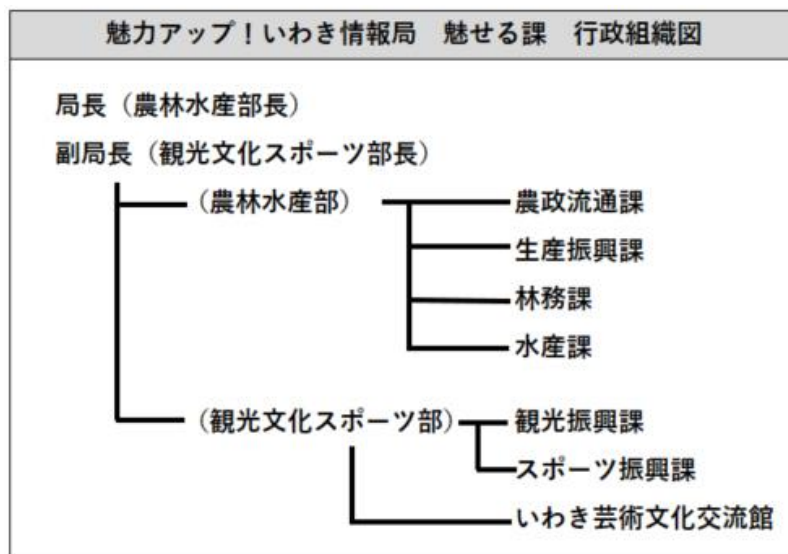
① 情報発信の内容

(テーマ)

「来てもらう、見てもらう、食べてもらう、伝えてもらう」をテーマに本事業に賛同し、本市へ来訪して頂く県外の方々に、豊かな自然に育まれた食の安全性や美味しさをはじめ、心躍るアクティビティ、歴史ある温泉等、様々な観光資源を共有しながら、地元民と接し、地元民の地元愛に共感して頂き、いわきの魅力を発信・拡散して頂くことで本市のイメージ向上を図る。

②いわき市の情報発信体制

東京電力福島第一原発事故後、いわき市産農水産物や観光業における風評の払拭を図るための取り組みや、様々な検査結果に関する情報を分かりやすく透明性を高めて提供するプロジェクト組織「魅力アップ！いわき情報局 魅せる課(旧称：見せる課)」による組織横断体制を強化し、各分野毎の役割り分担を図りながら、本事業に取り組んでいく。



情報発信体制については、事業主体となる行政及び関連産業界による基礎情報発信から、観光ツアーをはじめとする各種事業に参加を頂く予定のインフルエンサーやマスメディア、一般参加者全てに情報を共有していただき、「共感発信」「共感拡散」のキーワードの基、食の安全性と地域の魅力を発信して頂く体制作りを目指す。

【情報発信体制図】



③ 情報発信等の戦略目標

いわき市産農水産物の安全性や美味しさ、健康への影響等についての正確な情報を国内外へ発信し、来訪して頂いたお客様が、それらの情報の信憑性を確認（＝共有・共感）のうえ、SNSや口コミによる情報拡散を図る一連のシステムを構築し、情報発信から「共感発信」「共感拡散」へと繋げ、本市のイメージ向上を図る。

④ 全体工程表

